

種名	<u>ツ            グ            ミ</u> <u>Turdus naumanni</u>												
													
分類	スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科												
特徴	翼を下げ、胸を反らせて地面に立つ赤茶色の鳥。シベリア東部からカムチャッカにかけての地域で繁殖し、冬鳥として全国に渡来する。胸の黒斑がなく、赤褐色の斑点がある別亜種ハチジュウツグミも少数渡来する。												
生活	低地から山地の林や農耕地、芝生、川原、干潟などいろいろな環境に広く棲息する。秋に渡来したあとは林で群れが見られ、カラスザンショウ、ハゼノキなどの木の実を好んで食べる。冬にはいるとともに群れは分散し、開けた場所で見られることが多くなる。地上を数歩歩いては立ちどまることを繰り返しながらミズなどの小動物を捕まえる。畑の堆肥などはよい採餌場となる。												
声	渡去後の春には、さえずりの中に地鳴きを交えながらさえずることが多い。3月に千葉県下で録音した時は、「クィクィ、キョキョ、キツター、クッチリー」などとさえずっていた。地鳴きは「キョッキョッ」とか「クィクィ」という特徴ある声だが、ほかに「クワックワッ」とか「ツイー」という声も出す。												
見分け方	クリーム色の眉斑が目立つ。翼上面の赤褐色や胸の黒斑はよく目立つが、個体変異が多い。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L)24cm 翼開長(W)39cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													